

授業計画書(シラバス)

教科名	コールドワークⅡ	曜日 時間	木曜日、金曜日 9:10～15:50	担当者名	イーリ・スヒー
-----	----------	----------	-----------------------	------	---------

	前期指導案		後期指導案	
(年 2 間 6 授 回 業 日)	4月	12 18 19 25 26	10月	
	5月	9 10 16 17 23 24 30 31	11月	
	6月	6 7 13 14 27 28	12月	
	7月	4 5 11 12 18	1月	
	9月	12 13	2月	
方 授 法 業	(講義 ・ 実技)		(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	<p>個人課題 学生の個々のスキルとアートプロジェクトと課題に焦点を当てる。課題は卒業制作に関連したものとなる。 テーマ: ガラス表面の加工・処理、テクスチャー加工 完成した作品を富山市ガラス美術館で展示する</p> <p>ウォーターサンダー機の使用 1) ガラスの形作り - ダイヤモンドヘッドの使用: グラインディング 2) ダイヤモンドパッド - グラインディング、スムージング、プレポリッシング、ポリッシング 3) 磨き用パッド - パミス1,2 プレポリッシング - セリウム ポリッシング</p> <p>毛ブラシの使用 パミス1,2 プレポリッシング</p> <p>道具の使用 1) ダイヤモンドスポンジ 2) その他スポンジ類ややすりなど</p> <p>友ずり ガラス片やガラスブロックと研磨剤の使用 グラインディング、スムージング、プレポリッシング 酸洗いの紹介</p> <p>講評日: 7月12日</p>			
到 達 目 標	<p>個々のスキルに焦点を当てる。コンセプトの明確性やコンセプトとの向き合い方、デザイン性と作品の完成度の向上。課題は卒業制作に関連したものになる。自身で選んだコールド技術の向上、その応用、及び慎重で丁寧な加工。</p>			
成 績 評 価	<p>オリジナリティー、作品の持つ意味や重要性、課題制作過程におけるコミュニケーション、作品の精度と品質の追求、時間管理、責任感。</p>			
事 留 意	<p>各作業ステップを丁寧に実行し、相談する。</p>			